

令和7年度

指導計画・評価計画表 【2年生 美術科】

観点 ① 知識・技能

② 思考・判断・表現

③ 主体的に学習に取り組む態度

学習単元	観点	単元の評価規準（学習評価表）	具体的評価規準（おおむね満足B）	評価方法・場面	弱点克服
授業ガイダンス 「木彫筆箱」 4～7月	①	<ul style="list-style-type: none"> 材料や技法の特徴をいかした作品制作をすることができる。 制作の手順、技法、道具について正しい知識をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な彫り方や文様について理解し、表現に生かすことができる。 道具を適切に選択して使用することができる。 	作品や制作過程のスケッチ、自己評価シート。作業への取り組み。	道具の使いこなし
	②	<ul style="list-style-type: none"> 見通しをもって作業を進めることができる。 見通しを持って作業を進め、美しい作品をつくることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 材料の特性を生かした表現ができる。 発想力を生かし、個性的な表現ができる。 見本作品を鑑賞し生かすことができる。 		鑑賞を生かす
	③	<ul style="list-style-type: none"> 工芸という課題に関心を持ち、作業内容を理解し、意欲をもって取り組む姿勢が見られる。 自分の作品から良さや美しさを見つけ感想を述べるができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 制作の手順・注意事項・用具の使用法などが理解できる。 個性をとらえ、作品の良さや美しさを感じ取れる。 		自己評価シート
アートグラス 「線で描く」 9月～12月	①	<ul style="list-style-type: none"> 見通しを持って作業を進め、美しい作品をつくることができる。 制作の手順、技法、道具について正しい知識をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 線を積み重ねることで濃淡のある絵作りができる。 ニードルを効果的に使い作業を根気よく積み重ねることができる。 	作品や制作過程のスケッチ、自己評価シート。作業への取り組み。	道具の使いこなし
	②	<ul style="list-style-type: none"> 線画の特性を生かして創造的に表現している。 彩色の表現を工夫することができる。 スタンドグラスなどからの発想。 	<ul style="list-style-type: none"> 見本作品の鑑賞を生かして、線の粗密による表現や、彩色表現の工夫をすることができる。 彩色を工夫して線画を引き立てることができる。 		鑑賞を生かす
	③	<ul style="list-style-type: none"> 線の描画に関心を持ち、作業内容を理解し、意欲をもって取り組む姿勢が見られる。 自分の作品から良さや美しさを見つけ感想を述べるができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 根気よく線を積み重ねる描き方ができる。 図案の転写方法など、課題の特性を理解した取り組みができる。 		自己評価シート
鉛筆スケッチ 「観察して描く 静物画」 1月～3月	①	<ul style="list-style-type: none"> 制作の手順、技法、道具について正しい知識をもっている。 練習を積み重ねて、スケッチの技法を身につけることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 鉛筆の基本的な使い方を理解し、立体的に描画することができる。 観察を生かして、強弱や線の塗り重ねて美しく描画できる。 	作品や制作過程のスケッチ、自己評価シート。作業への取り組み。	鉛筆・消しゴムの使いこなし。
	②	<ul style="list-style-type: none"> 濃淡の美しさを生かした表現ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 美しいグラデーションを生かして描画できる。 		鑑賞を生かす
	③	<ul style="list-style-type: none"> モノトーンの表現の美しさを感じ取れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 輪郭線だけでなく濃淡を生かした表現ができる。 		自己評価シート